



# 遊行寺だより

令和二年  
二月

記録的暖冬により暖かい日が続いております。朝晩との寒暖差がありますので、体調管理には十分にお気を付けください。

今月は節分追儺式、涅槃会を修行いたします。皆様のご参拝を心よりお待ちしております。



## ◆ 今月の行事予定

### ・<sup>しききょうえ</sup>写経会【2日(日)午後1時】

どなたでも気軽に写経の体験ができます。

受付は12時半からです。(御志納 1,000円)

道具はこちらで用意しており、各自写経終了後解散となります。



### ・<sup>せつぶんついなしき</sup>節分追儺式【3日(月)午後1時半・3時】

豆まきは、各時間の法要の後に行います。当日は景品の当たりシールが付いた福豆もまかれます。

ご家族、ご近所さまをお誘いあわせの上、ぜひお参りください。

### ・<sup>ねはんえ</sup>涅槃会【15日(土)午前5時半の朝勤行後】

約2500年前に入滅し、涅槃に入られたお釈迦さまを偲ぶ法要です。涅槃図の本堂安置期間は、**5日(水)～17日(金)午後4時頃まで**です。



「釈迦涅槃図」  
— 清浄光寺(遊行寺)蔵 —

## ◆ 今月の催事予定

### ・骨董市【2、16日(日)】

毎月第1日曜日…<sup>のみ</sup>蚤の市

〈問合せ:090-4416-2168(石田様)〉

毎月第3日曜日…ボロ市

〈問合せ:090-2660-6935(中島様)〉

\* 午前7時より午後4時まで(雨天中止)



### ・野菜市【5、12、19、26日(水)】

毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

### ・寺ヨガ【9日(日)】於:大書院

9時～ / 11時～ / 13時～(各70分)

〈問合せ:090-4365-5034(ナーニャ先生)〉



## 遊行寺宝物館

特別展～遊行寺の名品～

開催期間：2月11日まで

開館日：毎週土・日・月曜日・祭日

開館時間：10時から16時

(入館は閉館30分前まで)

入館料：一般500円、小学生以下300円



宗祖の

## 今月のおことば

### 無常を知って躍年に

新年を迎え、たくさんの参拝者の方々から厄除け祈願のお申込みをいただきました。皆さまもいざ自分が厄年にあたってしまうと、いつも以上に日々の過ごし方が気になってしまうのではないのでしょうか。

厄には、「<sup>ふし</sup>節・<sup>く</sup>苦・<sup>わざわい</sup>災」という意味があるため、厄年は悪いことが起こるというイメージが定着しておりますが、一説に厄は“役”に通じるとも言われ、一人前の大人としての役を担う、親としての役を担う、年長者として責任ある役を担う、など役目を果たす年とも重なります。

つまり厄年とは、様々な変化を伴う年齢であり、心身に大きな影響を与えやすい時期であるため、注意しなければいけないのです。

### もっぱら無常の<sup>ことわり</sup>理<sup>かん</sup>を<sup>とんよく</sup>観じて貪欲の心をおこすことなかれ

こちらは時衆制戒の中の一文中、「無常である世の中では、執着心・むさぼる心・惜しがる心は捨てなさい」という<sup>いまし</sup>誡めであります。

誰も毎日が平穏で幸せであることを望みますが、私たちの生活には良い変化もあれば、時に不安や恐怖さえももたらす老いや病、出会いや別れなどの人間関係、受け入れがたい環境の変化もあり、避けることができません。

仏教では、ものごとは絶えず変化を続けており不変的なものはないというのが真理です。世の中が無常であることを知っていれば、マイナスな出来事もいずれは必ず良い方向へ向かうと捉え、こころが乱れることなく落ち着いて過ごせます。

むしろ、厄の“節”という意味を考えてみると、節があるおかげで真っすぐに立っている竹のように、人生には困難という節があるからこそ、それを乗り越えて人として成長できるのではないのでしょうか。

たとえ思うようにならないことに直面しても、ただ悲観するのではなく、飛<sup>やく</sup>躍“の年として前向きに生活を送りたいものです。

合掌

(内<sup>ない</sup>近<sup>ごん</sup>司<sup>す</sup> 常<sup>ときわ</sup>盤<sup>ばん</sup> 慈<sup>じ</sup>人<sup>じん</sup>)

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。  
最新記事をお読みいただけますので、  
ぜひ“いいね！”してください♪



時宗総本山 遊<sup>ぎゆう</sup>行<sup>ぎやう</sup>寺 〒251-0001 神奈川県藤沢市西宮 1-8-1  
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243

世にふればやがてきえゆく淡雪の  
身にしられたる春のそらかな

「一遍上人語録」

～一遍上人のおこころ～

降っては消える淡雪をみると、私の命もやがて、この雪のように消えゆくものだと思います。知らされる春の空。

命は決して永遠不変のものではない。

同様に、すべてのものは諸行無常であり、時とともに移り変わるものである。